

ASTHMA CHECK®

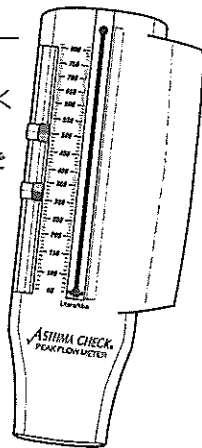
Peak Flow Meter with Asthma Management Zone System

アズマチェック ピークフローメータ

レンジ：60～810L/min

- ✓ 喘息患者のピークフロー計測に使用します。
- ✓ 1人の患者専用としてください。

注意：医師の指導の下で使用ください。



PHILIPS
RESPIRONICS

1

はじめに

喘息患者にとって、呼気ピークフローを正確に計ることは非常に重要です。毎日の計測は、自分でも気が付かないようなわずかな肺機能の変化を察知するのに役立ちます。アズマチェックを正しく使用することによって、精密な値を計測することができ、医師は使用者（患者）に対して有効な治療を処方することができます。

アズマチェックの使用は簡単です。アズマチェックに息を吹き込むだけでピストンが動き、連動したゲージ上の針がピークフロー値を明示します。

喘息患者はピークフローメータで計測を行う前に、医師から説明を受けなければなりません。医師は患者に対してピークフローメータの正確な使用法と正しい記録方法をアドバイスすることができます。

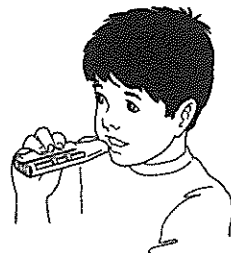
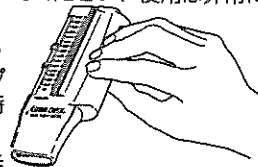
以下の使用方法を十分にお読みください。ピークフロー値に基づき、医師は数値の範囲（左側にあるスケールの指標）を決定します。

医師よりカラーゾーン指標（緑/黄、黄/赤）の数値について指定がありますので、使用前に指標を動かして設定してください。

アズマチェック使用方法

以下の説明に従ってください、使用は非常に簡単です。

1. アズマチェックのグリップ部を右手で持ちます。
2. 赤い針が一番下（マウスピース寄り）になっているか確認します。そうでなければ指で動かし一番下にセットします。
3. 立って使用するほうが望ましいですが、座った状態でも使用は可能です。できる限り深く息を吸いこみます。そしてマウスピースを上下の歯で軽く噛むようにし、唇で空気が漏れないように密閉します。
4. 強く息を吐きます。針は上側に動きます。針の指し示す所がピークフロー値です。
5. 測定を繰り返す場合には、2～4の操作を行ってください。
6. 3回測定し、そのうちの最高値をピークフロー日記に記録します。



2

3

アズマチェックのメンテナンス

日常のメンテナンス

アズマチェックは日常のメンテナンスを行うことにより、正常な計測が保証されます。食べかす等の異物が入り込んでいないか確認してください。針とピストン部がスムーズに動くようにしてください。針はスケール上を移動したら、その場でとどまらなくてはなりません。破損したメータを使用しないでください。

洗浄

週一回は洗浄を行ってください。手洗いの場合は、中性洗剤を入れた温水で洗った後、十分にすすいで使用前には完全に乾かしてください。

食器洗い機を使用する場合は、上段棚で洗浄を行ってください。

煮沸は行わないでください。

アズマチェック仕様

アズマチェックは、米国喘息教育予防プログラム（NAEPP）でのスパイロメトリー標準化準拠ピークフローメータに関する技術ガイダンスに適合しています。

精度・・・ +/-10% または20L/分
再現性・・・ ≤5% または10L/分
装置間誤差・・・ ≤10% または20L/分

注意

ピークフロー値の変化をモニターするのは非常に重要です。ピークフロー値が変化したり、ピークフロー値にかかわらず喘息の症状にお悩みの場合は、すぐに医師に相談してください。

ピークフロー値の測定

毎日のピークフロー値を次に示す方法で、ピークフロー日記に記入してください。

4

使用者（患者）の方へ

このメータは喘息治療の手助けになるよう設計されています。医師は、喘息症状を抑え込んだ状態の日ににおける最良ピークフロー値で、ゾーンを決定します。

ピークフローメータに息を吹き込むと、針がピークフロー値を指し示し、その値は3つのいずれかのゾーンに該当することになります。

緑ゾーン：正常 - 現在の治療を実行し、普通に生活してください。

黄ゾーン：注意 - 喘息が悪化している可能性があります。緑ゾーンに戻るよう医師の治療指示に従ってください。

赤ゾーン：警告 - 医師の指示に従ってください。

針が緑ゾーンに常にとどまり、万が一黄ゾーンになったとしても赤ゾーンには決して落ち込まない段階になって、治療は終了することになります。

医師の方へ

アズマチェックはNAEPP推奨の治療ガイドラインに基づき、喘息の3つの区域（ゾーン）に計測値を分けています。左側に色分けされた指標があり、患者に合わせて緑、黄、赤に領域を分けることができます（指標は故意に動かさないようになっています）。

4つのゾーンに区切りたいのであれば、黄ゾーンを高位側と低位側に分けて、それにより治療方法を変えます。ゾーンは、喘息症状を抑え込んだ日における治療後の最良ピークフロー値に基づき決定されます。ゾーンは患者個人個人の生理状態と呼気ピークフローパターンにより調整します。緑ゾーンが患者の最高ピークフロー値の80～100%、黄が50～80%、赤を50%以下と定義する場合、緑/黄の指標をピークフロー値の80%の位置に、黄/赤の指標を50%の位置にセットします。

注意：煮沸またはオートクレーブ滅菌はしないでください。

5

製造販売業者

フィリップス・レスピロニクス合同会社

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町一丁目825番地1
本社 〒108-8507 東京都港区港南二丁目13番37号 フィリップスビル
マーケティング部 03-3740-3245
www.philips-respironics.jp

6

1027280
11/04/01S